

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月22日

事業所名:たにやま たんぼぼ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			職員の数は適正ではあるが、更に良い環境を作る為に増員した。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	建物二階にある事業所の為、利用児の年齢や状態に合わせて通所支援を行っている。	再度環境を見直し、改善に努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		朝夕の掃除と活動毎や利用児が入れ替わる毎に消毒、換気を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		指導後や職員会議の中で、目標と現状を見直し改善に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			連絡帳を作成し活用を始めた。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		学園のホームページに自己評価の結果を公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価は、現在検討中。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			様々な研修に参加し、新たな知識や技術、情報を獲得し、職員間で共有できるようにしていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にあセスメントを行い、利用児を多面的に捉えながら計画を作成している。	保護者のニーズだけでなく、並行利用している園とも情報を共有した上で作成した。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		行動観察によるアセスメントツールを活用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		日々の行動観察や保護者への聞き取り、並行利用の施設、ガイドラインをもとに計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		職員や保護者と状態を共有しながら計画に沿った支援に努めた。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担任や担当を決めず、チームとして支援を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			重点的に指導を行う場合は、指導を固定化することもある。マンネリ化しないように工夫していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		利用児の状態や目標に合わせて個別と集団指導を組み合わせている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員同士で、支援における役割を決めている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			概ねできてはいるが、職員の勤務状況によっては伝達、共有が翌日になる場合もある為、共有の仕方を工夫する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援後、支援内容や利用児の状態、達成度等を記録し、共有している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、支援内容を随時検討している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		利用児の状態や支援内容を把握できている者が参加をしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		他関係機関や並行利用の園と連携を取りながら支援を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		併行利用している園と必要に応じて情報を共有している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートや書面、電話等を利用して情報を提供している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		個別指導を主としている為、行っていないが、必要に応じて検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか				
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		見学により、利用児の様子を実際に見ていた。メール、電話等でも様子を伝えている。	今年度より連絡帳を作成し、活用している。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			家庭でも取り組みやすい支援方法の助言を行っている。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談だけでなく、電話、メール、連絡帳を活用しながら迅速に対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の会設立や活動は行っていない。保護者から要望があれば場を設ける。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談、苦情受付の担当を提示している。研修にも参加しておりマニュアルを作成、職員間で共有している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		個人指導が主の為、行事は行っていない。ホームページでの情報発信を検討中。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員間でも配慮の仕方を共有している。保護者にも契約書にて同意を頂いている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		個人指導を主としている為、地域の方を招待する等の交流は行っていない。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			環境の変化に日々対応しながら、マニュアルが適正か検討していくようにする。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に、火災、地震、洪水等の避難訓練を行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用契約書説明の際に確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食事やおやつを提供はしていないが保者に確認し、職員で共有している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記入用紙を設置している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修に参加した職員が事業所内研修にて周知している。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束が必要な利用児はいないが、必要に応じて対応していく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)